

日本動物実験代替法学会企画委員会主催

「代替法を正しく、有効に使う為に！」

日時：2019年9月6日(金) 10:00～17:10

(受付開始 9:20～)

場所：東京大学 本郷キャンパス

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html

工学部5号館1階51号講義室

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_06_j.html

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1

内容：1. *in vitro* 眼刺激性試験法(4試験)の
特徴、有用な評価方法

2. *in vitro* 皮膚感作性試験(4試験)の
特徴、組み合わせ応用等

3. 個別討論

-各試験法のエキスパートとの議論-

参加費：代替法学会個人会員 2,000円

非会員 4,000円

(事前申し込み、振込み必要)

定員： 150名



日本動物実験代替法学会
企画委員会(山下邦彦)

Email: gakkai@impulse.med.osaka-u.ac.jp

TEL 06-6210-8449

スケジュール(予定)

座長: 山下 邦彦(大阪大学)

9:20 受付開始

9:50 開催挨拶

酒井 康行

(日本動物実験代替法学会会長、東京大学大学院工学系研究科)

眼刺激性セッション 10:00~13:30

10:00 STE法を用いた混合物の評価

安保 孝幸 先生

(花王株式会社 安全性科学研究所)

10:20 BCOP法の強みと弱み、混合物評価など

東端 裕司 先生

(株式会社化合物安全性研究所)

10:40 培養角膜上皮モデル試験法の強みと弱み

加藤 雅一 先生

(株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング)

11:00 Vitrigel-EIT法の特徴 OECD TG収載へ向けての取り組み

山口 宏之 先生

(国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構、
関東化学株式会社)

11:20 *in vitro* 眼刺激性試験を用いた評価手法

安保 孝幸 先生

(花王株式会社 安全性科学研究所)

11:40 CROとしての最新の眼刺激性試験への取り組み等

鈴木 克 先生

(一般財団法人化学物質評価研究機構)

12:00~13:00 休憩

13:00~13:30 各試験法エキスパートを囲んでの質疑応答



日本動物実験代替法学会
企画委員会(山下邦彦)

Email: gakkai@impulse.med.osaka-u.ac.jp

TEL 06-6210-8449

皮膚感作性セッション:13:40~17:10

13:40 最新の皮膚感作性試験の動向(IATA等)

足利 太可雄 先生
(国立医薬品食品衛生研究所)

14:10 h-CLAT法の特徴と課題

廣田 衛彦 先生
(資生堂グローバルイノベーションセンター)

14:30 KeratinoSens™法の特徴と課題

佐久間 めぐみ 先生
(株式会社コーセー 研究所)

14:50 皮膚感作性の*in vitro* 試験法で陰性の混合物で考慮される感作閾値;
Mixture DST

西條 拓 先生
(花王株式会社 安全性科学研究所)

15:10~15:30 休憩

15:30 IL-8 Luc assay 法の強みと課題

木村 裕 先生
(東北大学 皮膚科)

15:50 ADRA法の開発 -DPRA法との比較-

藤田 正晴 先生
(富士フイルム株式会社 安全性評価センター)

16:10 CROとしての最新の皮膚感作性試験への取り組み等

小島 幸一 先生
(一般財団法人食品薬品安全センター)

16:40~17:10 各試験法エキスパートを囲んでの質疑応答

日本動物実験代替法学会
企画委員会(山下邦彦)

Email: gakkai@impulse.med.osaka-u.ac.jp

TEL 06-6210-8449

